

## 特長

キャリアV657は、時刻のほかに1/10秒計測ストップウォッチを備えたアナログクォーツ時計です。

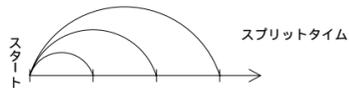
時刻

時・分・秒の他、カレンダーを表示します。

ストップウォッチ

1/10秒単位の計測ができる60分計です。  
また、スプリットタイムも計測できます。

スプリットタイムとは、スタートからある区間までの途中経過時間をさします。



## 各部の名称とはたらき



ストップウォッチは、時刻とは別に独立して計測します。  
ストップウォッチ1/10秒針は最初の1分間のみ通針します。  
1分以降はストップしたときのみ1/10秒を表示します。

## ストップウォッチ1/10秒・秒・分針の0位置確認と合わせかた

時刻合わせの前に、ストップウォッチ1/10秒・秒・分針が0位置(12時位置)に合っているか確認してください。

ストップウォッチが計測中のときは、次のボタンを押してリセットしてから0位置確認をしてください。

(詳しくは「ストップウォッチの使いかた」の項をご参照ください。)

- ・針が動いている状態： ボタンA B
- ・ストップ状態： ボタンB
- ・スプリット状態： ボタンB A B

ストップウォッチ1/10秒・秒・分針が0位置からずれているときは、次の手順にそって合わせてください。



- 1 リュウズを2段引きます。
- 2 ボタンAまたはBを押してストップウォッチ1/10秒・秒・分針を0位置へ合わせます。  
・ボタンAでストップウォッチ1/10秒針を合わせます。  
・ボタンBでストップウォッチ秒針・分針を合わせます。  
ストップウォッチ分針は、ストップウォッチ秒針の動きに合わせて回ります。早送り修正するときは、ボタンを押し続けます。
- 3 リュウズを押し込みます。

## 時刻の合わせかた

時刻を合わせるときは、かならずストップウォッチを止めてからおこなってください。



- 1 リュウズを1段引きます。
  - 2 リュウズを回して前の日の日付けに合わせます。
  - 3 リュウズを2段目まで引き出して今日の日付けになるまで回し針を現在時刻に合わせます。(午前・午後を間違えない様に合わせてください。)  
秒針は12時の位置に止めてください。  
1. 1段目(日付合わせ)  
2. 2段目(時刻合わせ)  
ボタンを押すとストップウォッチ秒針がずれるのでご注意ください。(詳しくは「ストップウォッチ針の0位置確認と合わせかた」の項を参照してください。)
  - 4 時報と同時にリュウズを押し込みます。
- リュウズが引き出せない。(ねじロック式リュウズ)モデルは、リュウズを左に回してねじをゆるめ、リュウズを1段引きます。この時計のリュウズは2段引くことができます。
- ねじロック式リュウズのモデルは、リュウズを押しつけながら右に止まるまでねじ込んでください。時刻合わせは、電話の時報サービス TEL. 117が便利です。

午後9時～午前1時までは日付けを合わせないでください。この時間帯に日付けを合わせると、翌日になっても日付けが変わらないことがありますので、この時間帯に針を動かしてから日付けを合わせてください。

## ストップウォッチの使いかた

ストップウォッチは、時刻とは別に独立して計測します。  
1/10秒単位の計測ができる60分計です。

【普通の使いかた】

例：100メートル走 [ボタンを押す順序：A A B]

(スタート) → (ストップ) → (リセット)  
(ゴール) (0分0秒にもどす)



【時間計測を積算でおこなうとき】

例：バスケットボール [ボタンを押す順序：A A/A ..... A B]

[スタート] → [ストップ] / [スタート] ..... [ストップ] → [リセット]  
(試合開始) (試合中断) (試合再開) (試合終了)



例：5分20秒8 例：20分00秒0

途中のスタート/ストップは、何回でも繰り返すことができます。

【スプリット計測をおこなうとき】

例：5,000メートル走 [ボタンを押す順序：A B/B ..... A B]

[スタート] → [スプリット] / [スプリット解除] ..... [ストップ] → [リセット]  
(ゴール)

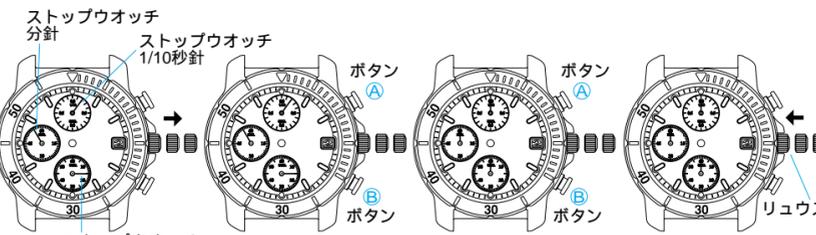


例：2分50秒 例：15分10秒7

途中のスプリット/スプリット解除は、何回でも繰り返すことができます。

## システムリセットについて

電池を交換した後は、時計内のICメモリー情報とストップウォッチ1/10秒・秒・分針の表示位置が一致しなくなりますので、次の手順にそって合わせてください。  
また、ストップウォッチが正常に動かないなど異常がみられたときも、同様に行ってください。



- 1 リュウズを2段引きます。
- 2 ボタンAとBを同時に約2秒間押し、ボタンを離します。  
・ストップウォッチ秒針が左右に回り止まります。
- 3 ボタンAまたはBを押してストップウォッチ1/10秒・秒針を0位置へ合わせます。  
・ボタンAでストップウォッチ1/10秒針を合わせます。  
・ボタンBでストップウォッチ秒針・分針を合わせます。
- 4 リュウズを回し時刻を合わせた後、リュウズを押し込みます。(詳しくは「時刻の合わせかた」の項をご参照ください。)

ストップウォッチ分針は、ストップウォッチ秒針の動きに合わせて回ります。早送り修正するときは、ボタンを押し続けます。